

第45回地域連携手帳委員会（略称：手帳委員会）

日時 令和元年 8月8日(木) 13時30分～

会場 新津医療センター病院 大会議室

1. 連携手帳の現状と問題点

・下越病院山田Nsより

下越病院内でむすびあい手帳についてのアンケート実施、結果報告あり。（別紙）

対象：院内スタッフ約300人

設問：手帳を知っているか／活用方法を知っているか／活用したことがあるか

どのように活用したか／便利だと感じる部分／不便だと感じる部分／どのようになると便利か／その他

・手帳を知っている職員は2割程度であった。

・MSW知ってはいるが、活用していない人もいる。

・他の職場では利用したことはあるが、下越病院では見かけたことないという意見もあり。

・情報ツールとしては伝えにくいのか。こちらから情報を提供しようとする意見があまりない。

→むすびあい手帳の歴史、活用方法についての学習会があるとよいのでは。

・発行部数について

むすびあい手帳の移行前は計3000～4000冊

むすびあい手帳に移行後は新潟市地域医療推進課が地域包括支援センターから請求のあった部数の把握をしている。実際の活用部数の詳細は不明である。

2. 連携手帳の発展的利用

・基本のページ+追加ページ

手帳に挟むすべてのページ種類がわかるように

→次回事務局より提示

・手帳活用がなされている乙訓では3.4年に1回アンケート調査を行っている。

秋葉区でもアンケート調査を行ってはどうか。

・ACP

もしもシートの活用について、新潟市地域医療推進課に確認。

→手帳に挟み込むことは可能。

挟み込むときには、シートについての説明を一言添えて行う。

活用後についての意見があれば、新潟市にお知らせいただきたい。
地域連携運営委員会にて ACP についての話し合いを進めている。
引き続き ACP 「私からの要望」の内容、利用方法について具体的に検討へ。

3. その他

- ・ワールドカフェ開催について 別紙

次回手帳委員会

令和元年10月17日(木) 午後1時30分から

新津医療センター病院大会議室

以上